

# 新潟米 マンスリーレポート

## (令和3年1月号)

### 《今月の特集①》

#### 令和3年度産地交付金の概要について

#### 1 主な運用の変更点

- ① 県枠の拡大  
県枠の割合を令和2年度の1.5割以上から、原則として2割以上に拡大
- ② 高収益作物等拡大加算の単価の引き上げ  
30,000円/10aから35,000円/10aに増額
- ③ 醸造用玄米を加工用米、米粉用米として認める措置を廃止  
(※ 輸出用日本酒原料となる醸造用玄米を新市場開拓用米として認める措置は継続)

#### 2 県枠の取扱い

- ① 加工用米・新市場開拓用米の複数年契約については、産地と実需者の連携による安定的な供給体制の構築を支援する観点から、**令和元、2年契約分を継続して支援するとともに、令和3年の新規契約も対象**とします。
- ② また、非主食用米のうち、相対的にインセンティブが低い**飼料用米及びWCS用稲については、生産性向上に係る取組を新たに支援**します。
- ③ なお、加工用米の複数年契約の取組については、令和2年度の運用と同様、県内実需との複数年契約を優先的に支援します。

#### 【令和3年度の県枠概要】

取組内容	対象作物	考え方	支援単価(上限)
【継続】 複数年契約の取組 (R元、R2からの継続契約)	加工用米、 新市場開拓用米 (米粉用米のR元契約分も含む)	実需に対し需要に応じた品種等を安定供給するため、複数年契約を締結した取組に対し支援	12,000 円/10a
【新規】 複数年契約の取組 (R3年からの新規契約)	加工用米、 新市場開拓用米	実需に対し需要に応じた品種等を安定供給するため、複数年契約を締結した取組に対し支援	12,000 円/10a
【新規】 生産性向上 の取組支援	飼料用米、 WCS用稲	低コスト技術の導入や収量性向上技術の導入等の取組に対し支援	5,000 円/10a

※ 国の予算成立まで変更の可能性があります

## 【飼料用米・WCS用稲の生産性向上取組支援について】

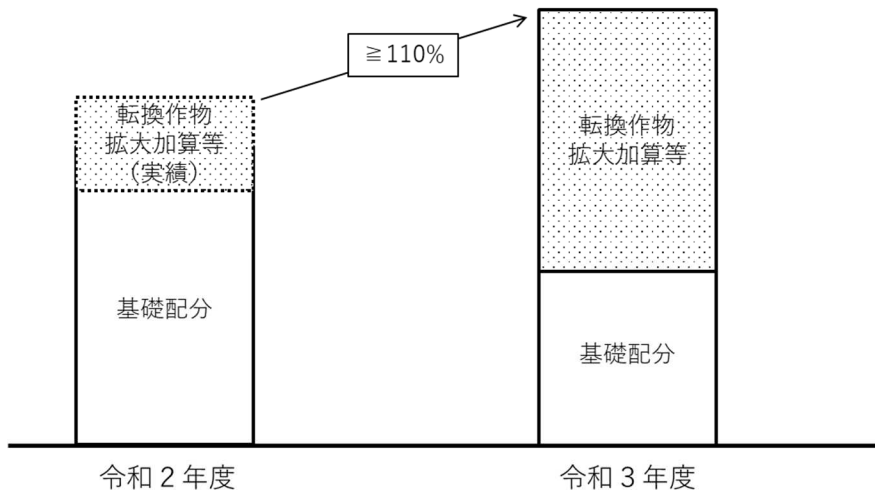
○ 要件：以下の取組メニューのうち、**2つ以上の取組を行った場合支援**します

対象品目		取組メニュー（想定）	取組内容
飼料用米	WCS用稲		
	○	直播栽培	湛水直播栽培や乾田直播栽培
	○	疎植栽培	栽植密度を削減することによって、移植箱数を削減する取組
○	○	高密度播種育苗栽培	箱当たり播種量を増加させることにより、10a当たり育苗箱数を削減する取組
○	○	プール育苗	プールを設置し、プール内に苗箱を置き湛水状態で行う育苗
○	○	土づくり	有機質資材（堆肥を含む）や土壌改良資材（ケイ酸等）の施用
○	○	効率的な施肥	側条施肥、流し込み施肥
○	○	効率的な農薬処理	播種時同時処理、田植え同時処理
○		多収性品種の導入	多収性品種の作付（国指定品種、県特認品種及び県指定品種等）
○	○	農業機械の共同利用	地域における農業機械の共同利用やシェアリングサービス
○	○	スマート農業機器の活用	ドローンや水管理システム等の活用
○	○	収穫作業の効率化	複数品種の活用による作期分散
	○		溝切り作業による収穫期のほ場排水の性確保
○		流通体制の改善	フレコン出荷

※ 取組メニューは、国との協議の結果等により、今後変更される可能性があります

## 3 地域協議会への配分

県枠の拡充に伴い減少していますが、市町村別目安に基づき、主食用米から非主食用米への転換を進めた場合、令和3年度の配分額は、全ての地域協議会が令和2年度の110%以上となるように配分されています。



- 地域協議会ごとに、転換作物拡大加算等に積極的に取り組み、産地交付金を確保しましょう。
- 「転換作物拡大加算」「高収益作物等拡大加算」に取り組む際には、地域農業再生協議会ごとに、令和3年度の「転換作物拡大計画」を2月17日までに県に提出してください。

## 《今月の特集②》

### 非主食用米等への転換に対する国の支援について

国は、令和2年度3次補正予算において、非主食用米等に対する支援を拡充しました。これらの制度を有効に活用し、主食用米から非主食用米への転換を図りましょう。

#### 1 「新市場開拓に向けた水田リノベーション事業」

「水田リノベーション産地・実需協働プラン」に基づいた以下の取組を支援します。

#### 実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援

##### ① 支援内容

- プランに参画する農業者が、実需者ニーズに応じた価格・品質等に対応するために必要となる低コスト生産等（②参照）に取り組む場合に、取組面積に応じて支援します。
- 交付単価：4万円/10a
- 対象者：水田において対象作物を生産する販売農家・集落営農
- 対象作物：令和3年産（基幹作）の新市場開拓用米、加工用米、高収益作物（野菜等）、麦・大豆

##### ② 対象となる取組メニュー

※品目ごとに3つ以上選択

新市場開拓用米 加工用米	①直播栽培 ②疎植栽培 ③高密度播種育苗栽培 ④プール育苗 ⑤温湯種子消毒 ⑥効率的な移植栽培 ⑦作期分散 ⑧土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり ⑨効率的な施肥 ⑩効率的な農薬処理 ⑪化学肥料の使用量削減 ⑫化学農薬の使用量削減 ⑬多収品種の導入 ⑭農業機械の共同利用 ⑮スマート農業機器の活用
麦 〔輸出向け又は加工向け〕	①融雪促進 ②新たに導入した品種に応じた栽培管理 ③ふく土・踏圧 ④難防除雑草対策 ⑤生育予測システムを活用した開花期・収穫期予測 ⑥効率的・効果的な施肥 ⑦重要病害虫の防除 ⑧排水対策管理 ⑨農業機械の共同利用 ⑩スマート農業機器の活用
大豆 〔輸出向け又は加工向け〕	①大豆300A技術 ②難防除雑草対策 ③土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり ④新品種の導入 ⑤効率的な施肥 ⑥均平作業（傾斜均平） ⑦摘心栽培 ⑧畝間冠水 ⑨団地化の推進 ⑩化学肥料の使用量削減 ⑪化学農薬の使用量削減 ⑫排水対策 ⑬農業機械の共同利用 ⑭スマート農業機器の活用
高収益作物 〔輸出向け又は加工・業務用〕	①生物農薬の導入 ②農薬によらない病害虫対策 ③農薬によらない土壌消毒 ④農薬のドリフト対策 ⑤化学肥料の使用量削減 ⑥化学農薬の使用量削減 ⑦土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり ⑧新品種の導入 ⑨排水対策 ⑩農業機械の共同利用 ⑪スマート農業機器の活用

※ 支援の対象となった水田の面積は、令和3年度の水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（加工用米：2万円/10a、麦・大豆：3.5万円/10a）及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分（新市場開拓用米：2万円/10a）の対象面積から除きます。

※ 本事業は、農業経営基盤強化準備金制度の対象ではありません。

#### 需要の創出・拡大のための機械・施設の整備支援

##### ① 支援内容

- プランに参画する実需者が、輸出等の需要に応じた加工品の生産体制の強化や国産原材料への切替えのために必要となる機械・施設の整備を支援します。
- 補助率：1/2以内

##### ② 対象施設等

輸出向けパックご飯の製造ライン増設、冷凍野菜製造ラインを国産野菜仕様に切り替える改修、輸出向け集荷・貯蔵施設の整備等

## 2 「麦・大豆収益性・生産性向上プロジェクト」

麦・大豆の団地化・生産性の向上に向け、「麦・大豆産地生産性向上計画」を作成して行う、以下の取組を支援します。

### 水田麦・大豆産地生産性向上事業

#### ① 支援対象

- 対象ほ場：田（水田活用の直接支払交付金の交付対象水田）
- 対象作物：麦（小麦、大麦及びはだか麦）、大豆
- 対象者：農業者の組織する団体※、地域農業再生協議会  
※ 受益農業従事者（原則年間150日以上）5名以上
- 採択要件：都道府県・産地で「麦・大豆生産性向上計画」を作成していること等

#### ② 支援内容

- 話し合い等を通じた団地化の推進経費  
団地化の推進に必要な話し合い、ほ場の簡易な改修・点検、水田地図のデジタル化などにかかる費用を実費で支援します。  

支援の上限額は地域の水田面積に応じて異なります。 50ha未満：50万円以内、50～150ha：100万円以内、150ha以上：150万円以内 ※ 北海道の場合の基準面積は6倍になります。
--
- 営農技術等の導入  
生産性向上や需要に応じた生産に向け、技術や品種を導入する場合、その内容に応じて15,000円/10a以内で定額※支援します。  
※ 取組内容により単価は異なります（2,000円/10a～10,000円/10a）
- 機械・施設の導入  
生産性向上等に必要な機械・施設の購入・リースを支援します。  
(1/2以内、5,000万円未満の機械・施設が対象)

# 新潟米の販売状況

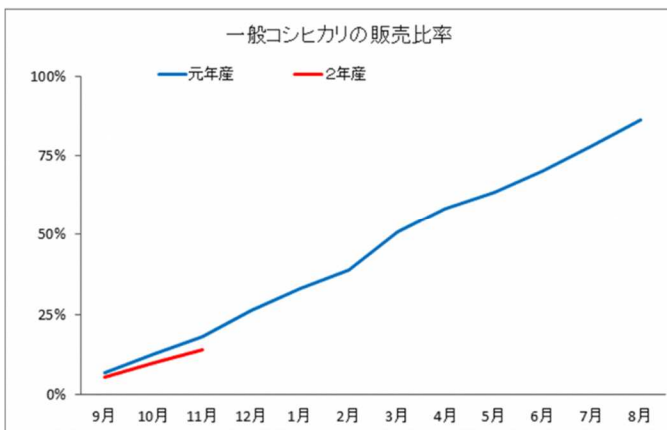
## 概況

令和2年11月末時点の2年産新潟米の販売比率は前年を下回っており、民間在庫は前年同期から2.3万トン増加している。また、相対取引価格は前年同期に比べ、新潟一般コシヒカリが60kgあたり350円下回り、魚沼コシヒカリが922円下回っている。

## 販売比率

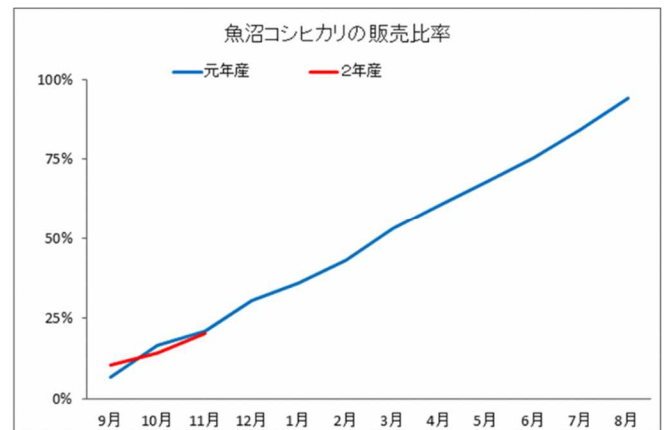
### (1) 一般コシヒカリ

11月時点の2年産一般コシヒカリの販売比率は、前年比4ポイント減の18%となっている。



### (2) 魚沼コシヒカリ

11月時点の2年産魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比1ポイント減の20%となっている。



## 販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	8%	15%	22%	31%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	7%	13%	18%	26%	33%	39%	51%	58%	63%	70%	78%	86%
	2年産	5%	10%	14%									
魚沼コシヒカリ	30年産	11%	18%	25%	36%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	7%	16%	21%	30%	36%	43%	53%	60%	68%	76%	84%	94%
	2年産	10%	14%	20%									
岩船コシヒカリ	30年産	5%	15%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	5%	11%	16%	24%	29%	34%	43%	52%	57%	67%	80%	88%
	2年産	5%	11%	17%									
佐渡コシヒカリ	30年産	7%	23%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	7%	19%	22%	28%	35%	46%	58%	63%	70%	76%	85%	92%
	2年産	3%	14%	20%									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

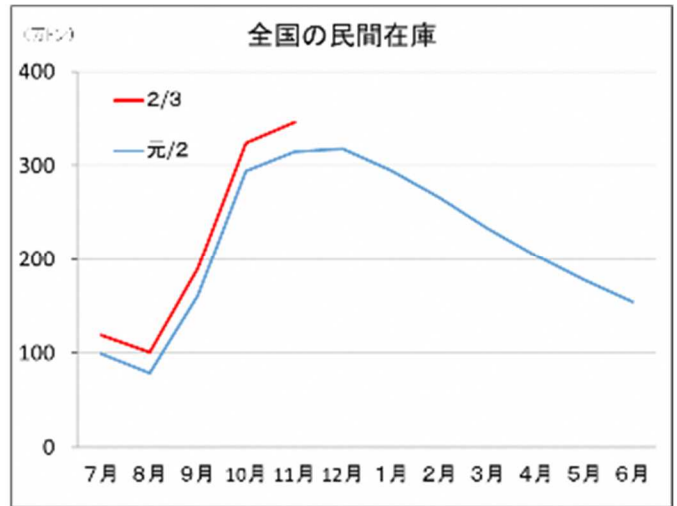
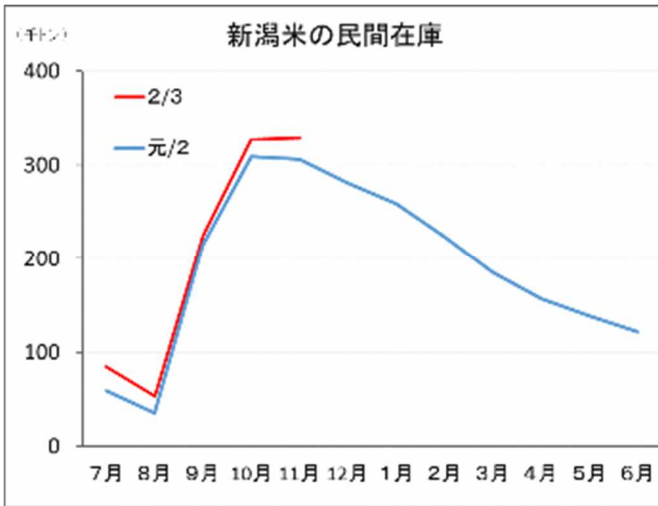
在庫状況

(1)新潟米

11月時点の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から23千トン増の329千トンとなり、前年を17か月連続で上回った。

(2)全国

11月時点の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から31万トン増の346万トンとなり、前年を15か月連続で上回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	元/2	59	35	214	309	306	281	259	224	186	157	139	122
	元 年 産 米	0	1	194	293	294	273	253	219	183	155	137	120
	1年古米(30年産)	58	34	19	16	12	8	6	4	3	2	1	1
	2/3	85	54	225	327	329							
	2 年 産 米	0	0	189	299	305							
	1年古米(元年産)	84	53	36	28	24							
全 国	元/2	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
	元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
	1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
	2/3	119	101	190	324	346							
	2 年 産 米	0	12	123	267	297							
	1年古米(元年産)	112	84	61	51	41							

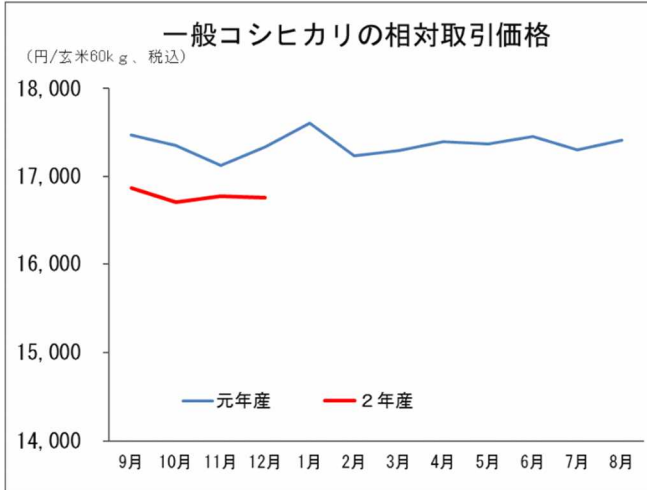
資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

- 注：1 出荷段階及び販売段階における水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

相対取引価格

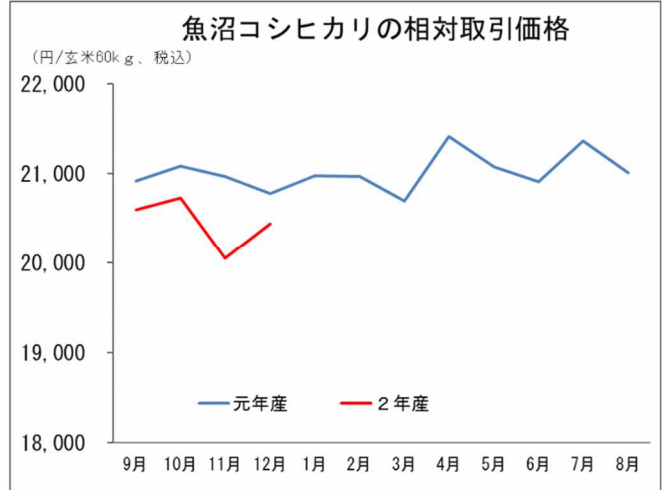
(1)一般コシヒカリ

12月時点の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ573円下回り、16,761円(玄米60kg、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

12月時点の魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ345円下回り、20,437円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471	17,353	17,126	17,334	17,604	17,239	17,294	17,396	17,366	17,453	17,303	17,414
	2年産	16,871	16,713	16,776	16,761								
魚沼コシヒカリ	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,462	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919	21,085	20,971	20,782	20,980	20,973	20,694	21,416	21,078	20,908	21,370	21,008
	2年産	20,595	20,733	20,049	20,437								
岩船コシヒカリ	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	17,743	-
	元年産	17,811	17,917	17,962	17,948	18,101	17,968	18,079	-	-	17,913	-	-
	2年産	17,292	17,276	17,258	17,241								
佐渡コシヒカリ	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	18,337	-
	元年産	17,834	17,922	17,932	17,919	18,199	18,059	18,137	17,951	-	17,785	-	-
	2年産	17,264	17,273	17,533	17,278								

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

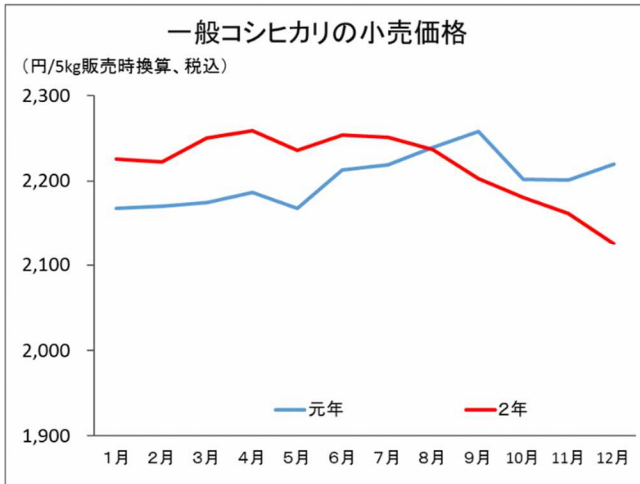
(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

小売価格

(POSデータ)

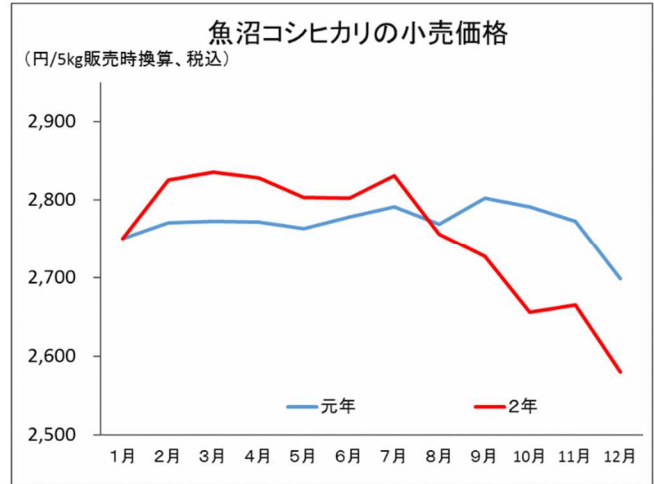
(1)一般コシヒカリ

12月時点の一般コシヒカリの小売価格は、前年産を下回っており、前月比▲36円の2,126円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

12月時点の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年産を下回っており、前月比▲85円の2,580円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202	2,201	2,220
	2年	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	2,162	2,126
魚沼コシヒカリ	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791	2,772	2,698
	2年	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	2,665	2,580
岩船コシヒカリ	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265	2,220	2,246	2,252
	2年	2,261	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐渡コシヒカリ	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232	2,218	2,300
	2年	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	2,249	2,278

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「—」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

編集後記～今年もよろしくお祈りします～

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします！

今月は2児の母に代わり、採用1年目、南魚沼市出身のSがお送します。

さて、皆様はお正月いかがお過ごしでしたでしょうか？今年には新型コロナウイルス感染症の影響もあり、家で過ごした人も多いのではないのでしょうか。私も実家で米とお餅をひたすら食べてテレビを見る典型的な『寝正月』を過ごし、3kgも太ってしまいました…

お米のおいしさを改めて実感するとともに運動することを決意したお正月となりました。

たくさん食べてたくさん運動して、健康な体を維持しましょう！



発行元：新潟県農林水産部農産園芸課

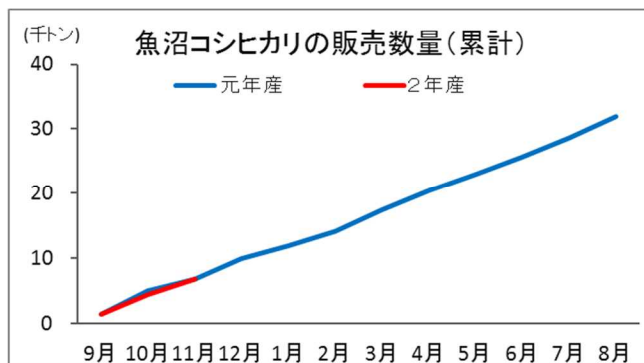
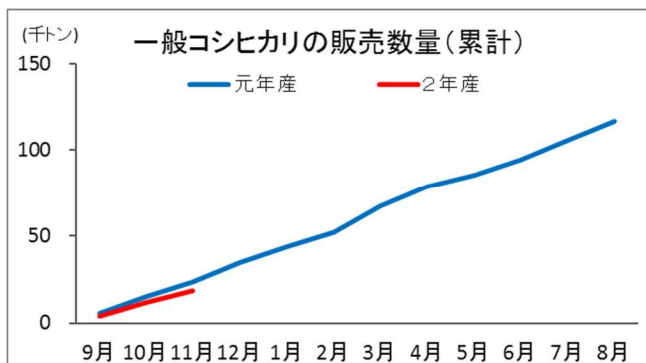
TEL：025-280-5295

URL：https://www.niigatamai.info



# 資料編

## 販売状況



### 販売数量(累計)の推移

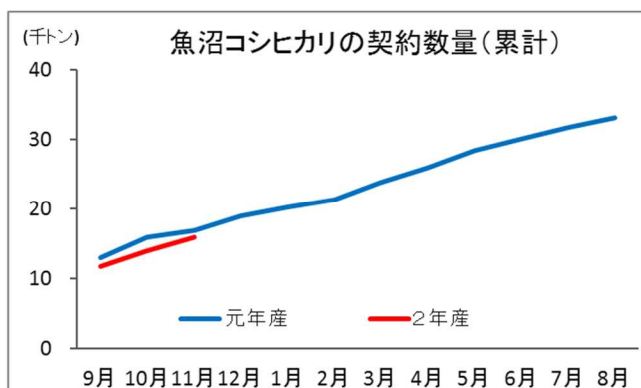
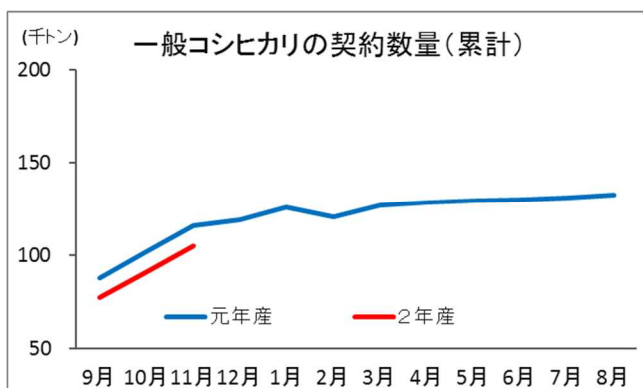
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5	15.2	23.8	34.8	43.7	52	67.4	78.7	85.4	94.4	105.3	116.4
	2年産	4.2	12.1	18.7									
魚沼 コシヒカリ	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5	5.0	6.9	10.0	11.9	14.1	17.5	20.5	23.0	25.6	28.6	31.9
	2年産	1.5	4.5	6.9									
岩船 コシヒカリ	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2	1.4	2.0	3.0	3.6	4.3	5.4	6.6	7.3	8.6	10.2	11.4
	2年産	0.2	1.3	2.0									
佐渡 コシヒカリ	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4	2.3	3.2	4.1	5.0	6.6	8.3	9.2	10.1	11.0	12.3	13.4
	2年産	0.2	1.7	2.9									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

## 契約状況



### 契約数量(累計)の推移

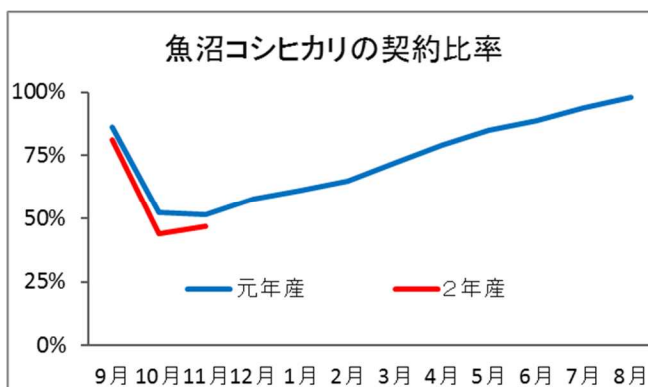
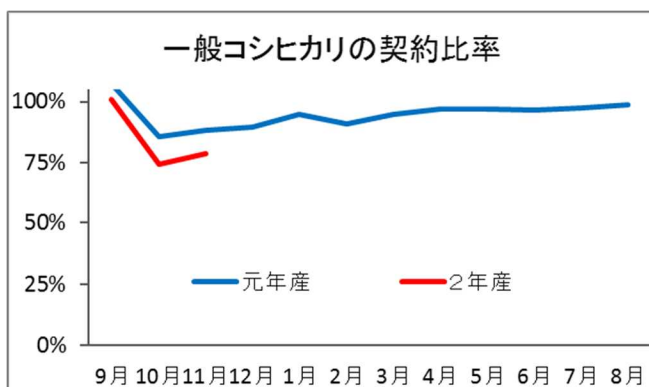
(玄米千トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7	101.9	115.9	118.9	125.7	120.7	126.6	128.6	129.3	130.1	131.2	132.7
	2年産	77.5	90.8	105.1									
魚沼 コシヒカリ	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30.0	31.1
	元年産	13.0	15.9	16.9	19.0	20.2	21.3	23.8	25.9	28.4	30.1	31.8	33.2
	2年産	11.8	14.0	15.9									
岩船 コシヒカリ	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4	9.5	9.5	9.5	10.4	11.3	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.8
	2年産	8.7	9.0	10.7									
佐渡 コシヒカリ	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9	11.1	11.3	11.6	12.3	13.4	14.2	14.4	14.2	14.2	14.2	14.5
	2年産	12.7	12.8	12.9									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

## 契約比率



## 契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	128%	90%	88%	92%	92%	96%	98%	99%	96%	98%	99%	100%
	元年産	107%	86%	88%	90%	95%	91%	95%	97%	97%	97%	97%	99%
	2年産	101%	74%	79%									
魚沼 コシヒカリ	30年産	125%	75%	77%	81%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	86%	52%	52%	58%	61%	65%	72%	79%	85%	89%	94%	98%
	2年産	81%	44%	47%									
岩船 コシヒカリ	30年産	555%	109%	108%	108%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	254%	76%	75%	75%	83%	90%	100%	100%	100%	99%	99%	99%
	2年産	235%	77%	91%									
佐渡 コシヒカリ	30年産	400%	119%	97%	98%	80%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	198%	93%	78%	81%	86%	93%	98%	100%	98%	98%	98%	100%
	2年産	212%	105%	91%									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。